

第3期 玉城町地域ふくし力向上計画 令和2年度 ～令和6年度

目 標	推進項目	実施計画	実施している活動 ◎主催 ○共催	年 次					
				令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年(具体的な到達目標)	
地域の「コミュニケーションアップ」 「だれもがつながり支える玉城町をめざしましょう」	①あいつで笑顔広がる玉城町	子どもから大人まで、誰もが元気よくあいつが行える取り組みを行う。	◎あいつ運動 毎月第3火曜日 あいつ強化デー	あいつ強化デーの継続実施 活動の拡充検討 ・あいつ登録の周知 ・場所の拡充検討		活動の拡充評価・検討 ・あいつ人(目標値:新規5名) ・場所の拡充(目標値:新規1か所)	活動の見直し	評 価 あいつ人、場所を増加し、コミュニケーション力の向上を図る	
	②支え合い、つながり合える玉城町	たまき人の啓発を積極的に行うとともに、たまき人同士のつながりを深め地域力の向上を図る。	◎たまき人の啓発 (元気ですたまきまつり、桜まつり、商工会夏祭り、町民体育祭、などのイベントでの啓発)	たまき人の啓発の継続	たまき人の周知方法見直し たまき人がつながり合える交流の場の検討			活動の見直し	評 価 たまき人の認知度が高まり、地域を思う気持ちを育むことができる
		各種団体と連携し、地域での活動がより効果的に行えるようにする。	○ふれあいウォーキング(健康しあわせ委員会) ○RUN 伴(認知症啓発)への参加	各種団体と協力し合い、玉城町の地域ふくし力向上をめざす	継続実施				評 価 効率的な地域福祉活動・協力体制の構築を図る
		高齢者や障がい者の方が孤立せず、また閉じこもることなく、地域でつながり合える。	◎楽笑会(小学校区別におこなう世代間交流) ○たまリンピック(障がいの有無を問わず、スポーツを通じて交流) ○ライブスペース勢の！ in たまき(全ての人を対象とし、音楽を楽しむ交流)	(1) 学校や民生委員、各種団体と連携し、世代を超えて交流できる場をつくる (2) 障がいの有無を問わず、つながり合える場をつくる	継続実施	内容・周知方法の見直し	目標値： 前年度より、参加者・参加事業所の増加	見直し	評 価 独居になっても孤立することなく、つながり合い顔の見える地域にする 評 価 障がいの有無を問わず、誰もがつながり支え合える地域にする
		出会いが少ない方へ働きかけ、交流しつながりができる活動を行う。	◎婚活事業 ◎友活事業	必要に応じて婚活、友活事業を計画し実施する	実施の検討・見直し		見直し		評 価 出会いのきっかけづくりができる
ふくし共育のびるまち 「支え合う気持ちを育てていきたいと思います」	①学び合い、共育し合う玉城町	ふくし共育活動を計画、実施し、継続的に行うことで、子どもから大人まで、ふくしの心を育ていく。	◎たまき人大集合(たまき人の交流の場・玉城町いいところツアー) ◎地域福祉座談会(中学生と地域住民との対話の場)	(1) 地域に対する意識の向上を目的にたまき人の交流の場を検討		活動の振り返り・検討・見直し		評 価 世代間が交流する場をつくり、ふくしの心を育む	
			◎イベントボランティアの周知(何か活動してみたいけど、一歩踏み出せていない人への地域貢献活動の情報提供)	(2) 世代の枠を超えて地域の課題などに気づき考え、その解決に向けて考える場を設ける	継続実施 見直し 内容の検討				評 価 地域の課題を自分ごとと捉えることができる人の増加をめざす
				(3) 福祉協力員の役割を見直し、学び合える仕組みや事業の検討	民生委員との協力体制の検討・見直し、調整を行う		福祉協力員の役割の確立		評 価 字区単位での見守り力の向上を図る
	②気づきから、行動できる玉城町	たまき人へ地域貢献活動を発信し、活動へのきっかけづくりを行う。	◎イベントボランティアの周知(何か活動してみたいけど、一歩踏み出せていない人への地域貢献活動の情報提供)	イベントボランティアの周知・募集		活動者同士が意見交換できる場の検討	見直し	評 価 地域貢献活動者の増加を図る	
	地域の困りごとを、地域住民が気づき、自分ごととして捉え、その解決に向けて行動できるようになる。	◎元気ですたまき委員の小学校区担当制(準備中)	小学校区担当制の検討 協力体制の構築		活動の見直し・課題整理		評 価 困りごとは小学校区別で力を合わせ、解決することができるようにする		